

令和5年度 第1回歴史講座

『家康家臣の戦いと日常』

—松平家忠日記をよむ—

^{ふこうずじょう}深溝城（^{こうたちょう}愛知県幸田町）を拠点とした松平家は、知行地から深溝松平家と言われます。その4代目となる家忠は家督を継いだ2年後の天正5年（1577）から文禄3年（1594）までの17年間、その日に何が起こったかを簡潔に書き綴った日記を残しています。



深溝神社・深溝城の鬼門守護の社

そこには、徳川家康の家臣として武田氏との戦いや豊臣政権下による関東へ領地替え、家忠自身の^{おしじょう}忍城（埼玉県行田市）での城下整備や文禄元年の^{かじろ}上代（^{とうのしょうまち}千葉県東庄町）への領地替えなど、武将としての日常生活を知ることが出来ます。

この日記を基にした書籍の著者を講師にお迎えして、歴史が動く局面での家康の動向や合戦への備え、大名間の接待や贈答など家康と家臣の実態などをお話しいたします。

▼日 時：令和5年5月21日（日）

午後1時30分～3時

▼会場：龍ヶ崎市歴史民俗資料館 多目的室

▼講師：盛本 昌広さん（龍ヶ崎市文化財保護審議会委員）

▼定員：40名（定員になり次第締め切ります。）

▼申込方法：4月21日（金）午前10時から、
電話及び資料館窓口で受付を開始します。

▼申込・問合せ先：龍ヶ崎市歴史民俗資料館

〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2488番地

TEL 0297-64-6227